

江北町の特徴や誇れるもの

- ・佐賀県のほぼ中央部に位置し、JR長崎本線・佐世保線の分岐点であり特急列車の停車駅である江北駅を有し、国道34号・207号の分岐点でもあり、交通に大変利便性が高い。
- ・旧長崎街道の宿場町であった。
- ・カンカン石・白木孔子像・馬頭観音楠樹・龍澤寺の坐禅石と十六羅漢といった町指定文化財がある。

そしぶん

- ・祖子分地区には面浮立が古くから受け継がれており、地域の祝い事などの際に披露され、勇壮な鬼面の浮立を中心に、華やかな花笠姿の銭太鼓がこれを囲んで踊る。
- ・町内を一望できる眺望のよい白木パノラマ孔園がある。

カンカン石



白木孔子像



馬頭観音楠樹



祖子分面浮立



教育委員会の取組み

○少年の主張大会

江北町青少年育成町民会議が主催し、町民が集う中で、小学5年生及び中学2年生の児童生徒が主張を行っている。子ども達は、日常生活の中で気づいた町のことや地域との関わりのこと、また、自分自身の将来のことなどを題材にしており、社会や地域に目を向ける機会となっている。地域の方からは子ども達の考えを聞く良い機会となったという声を聞く。



教育委員会所在地：江北町大字山口1651-1

連絡先：0952-86-5621

学校数： 小学校 1校、 中学校 1校

江北小学校の取組み

江北小学校では、総合的な学習の時間に、各学年で地域を取り入れた学習を行った。

- ・3年生は、江北町の「史跡」「伝統芸能」「農産物」を調査し、まとめることを通して郷土愛を育んだ。
- ・4年生は、江北町の「災害」「防災への取組」を調査し、ポスター等にまとめたことで郷土愛を育んだ。
- ・5年生は、「米作り」で田植え、稲刈り、脱穀まで経験したことをまとめ報告会を行い、郷土の自然に触れることを通して郷土愛を育んだ。



江北中学校の取組み

江北中学校では、1年生および2年生が総合的な学習の時間にキャリア学習の一環として、江北町の事業所調べや職場体験に取り組んでいる。地域の方の話を聞いたり、江北町および近隣にある事業所について、調べたり仕事体験をしたりしたのち、レポートや劇化して発表している。この学習を通して、地域のよさを発見し、地域への関心が高くなることを期待している。



1年生山田町長による郷土講話



2年生職場体験学習